

9月20日～22日 第1次全国行動 支社・支店・事業所17ヶ所で宣伝、要請行動

「東芝は差別をやめて争議解決を」全国に広がる連帯と共感

東芝争議支援共闘会議「9・20～22 第一次全国行動」は、岩手県から大分県までの各地域の労働組合の支援を受けて、東芝と東芝グループの全国17カ所の事業所や支社・支店に対して、争議解決をせまる宣伝と要請行動にとりくみました。この行動では、東芝の職場を明るくする会と支援共闘会議から34名が全国に展開し、各地域から75組織126名の支援を得て合計6千枚のビラを配布しました。

全員が出張中？ 大分支店

福岡県労連の支援を受けて北九州工場と九州支社(写真)、大分県労連の支援を受けて大分工場と大分支店への行動に取り組みました。会社側は「要請書も受けとらない」という非常識な対応。大分支店では、当初は「要請は受ける」と回答しながら、その後「本社の指示で会えない」と拒否。要請当日の支店ビルには「出張中」と張り紙がしてあり「もめけのカラ」の状態。



県労連が宣伝カーで支援

秘密警察が張り込み 関西支社

兵庫労連、西播労連の支援を受けて姫路工場と神戸支店、大阪労連、北摂津地区協議会の支援を受け、関西支社と東芝家電製造(株)大分工場で宣伝・要請行動。いずれも「警備員がでて総務部は面会拒否」の対応。神戸支店ではインタフォンを紙で隠して居留守作戦(写真)。



関西支社ではガラスドアや出入り口を全面白紙で目張りし、受付用の電話機は取り外し、東芝経営理念の入った額縁も紙で目隠し。さらに、周囲には数人の公安警察(私服)を配置する異常な。

カメラで隠し撮り 三重工場

愛労連の支援を受けて東芝家電製造(株)愛知工場と中部支社、みえ労連の支援を受けて三重工場への要請を行いました。いづれも「要請拒否、要請書も受け取らない」対応。三重では、申し入れの模様を工場内の建物の窓から隠し撮りする社会的常識にも反する異常な対応(写真)。



カメラで隠し撮り・総務

市民まで通行禁止 首都圏支社

埼玉連の支援を受けて、深谷工場と首都圏支社への要請行動に取り組みました。大宮駅近くの首都圏支社では「俺が責任者」と名乗る人物が、要請団にボイスレコーダー

を突きつけて入り口で仁王立ち。同じフロアにある埼玉県消費者センターを訪れた市民の通行まで阻止する態度に「それが社会貢献をうたっている会社のやることか」と参加者から怒りの声。

ビラを強制回収 那須工場

木柵

労連の支援で那須工場(東芝メデイカル)、福島労連の支援を受けて北芝電機への行動に取り組みましたが、いずれも「要請拒否」。医療機器をつくる那須工場ではビラを受け取った労働者に警備員が「ゴミ箱へ捨てろ」と指示するなど、相変わらず時代遅れの労務管理。人権侵害・憲法違反の職場の実態。



ゴミ箱に捨てると警備員

お客様も??? 東北支社

岩

手県労連の支援で岩手東芝エレクトロニクス(岩芝)、宮城県労連の支援を受けて東北支社への要請を行いました。東北支社では、ガラスドアに目張りをして鍵をかけ、照明まで消しました。電話をしても「誰もいません」と女性の声、支社に来たお客様がクビをひねって外に出て、もう一度ビルの看板を確認し「???」。東芝のトップが口にする「お客様第一」の看板が泣きます。

どうだったの？

CSR・企業の社会的責任

東芝の岡村会長や西田社長は「法令遵守(コンプライアンス)や社会貢献を重視」と言っていますが、今回の要請行動に示された職場の実態は、逆ではないでしょうか。



かたくなに要請を拒否する東芝

「労働委員会命令を履行して差別争議の一日も早い解決を」と要請に訪れた各地域の労組代表に対して、会社はガラスドアを目隠して居留守を使うなど社会常識に反する態度をとり、そのうえ、秘密警察や警備員を多数配置する他社には見られない態度は、CSR失格間違いない。

東芝賃金資格差別争議

支援共闘ニュース

東芝争議支援共闘会議

東芝の職場を明るくする会

2005年10月

〒210-0006 川崎市川崎区砂子2-11-20大幸ビル402
川崎労連内 TEL 044-211-5164 FAX 044-211-2411
〒212-0024 川崎市幸区塚越2-225 安伸ビル2F
TEL&FAX 044-533-1408
ホームページ www.kki.ne.jp/akaruku-tsb